

低学年での実践例

～タグラグビーへのつながりを意識した2年生の授業～

樺山洋一先生（鹿児島県熊毛郡南種子町花峰小学校）

◆単元計画

単元目標

- ・鬼をうまくかわしたり、相手をつかまえたりして鬼遊びができる。
- ・相手に勝つための作戦を立てて、協力して鬼遊びができる。
- ・みんなが楽しめるように、ルールを工夫することができる。
- ・ルールを守って仲良く鬼遊びをおこない、勝敗をすなおに認めることができる。

学習過程（全6時間）

時	1	2	3	4	5	6
ねらい	ねらい1 の学習			ねらい2 の学習		

指導計画（全6時間）

時	学習活動	指導上の留意点
1	<p>①単元のめあてを知り、学習計画について話し合う。 （オリエンテーション 第1次）</p> <p>みんなが楽しめるきまりを作って、いろいろな鬼あそびをしましょう。</p> <p>②1年生で学習した鬼遊びで楽しむ。 水鬼 色鬼 手つなぎ鬼 子取り鬼など</p> <p>③2年生での遊び方を知る。</p>	<p>□1年生で学習した鬼遊びを想起させ、楽しかったことや楽しくなかったことなどを話し合う。</p> <p>□1年生の時に遊んだいろいろな鬼遊びをおこなわせる。</p> <p>□「みんなが楽しめるためのきまり」や「勝敗への謙虚さ」等に焦点化して話し合う。</p>
2	<p>①ねらい1の学習を確かめる。（第2次）</p> <p>鬼につかまらないように、動きを考えながら鬼あそびをしよう。</p>	<p>ねらい1</p> <p>簡単なルールを決め、鬼遊びを楽しむ。 （今もっている力で楽しむ。主に個人の楽しみを充足させる。）</p>
3	<p>②しっぽ鬼をして遊ぶ。</p> <p>③たからとり鬼をして遊ぶ。</p> <p>④学習のまとめと反省をする。</p>	<p>□それぞれの遊びに十分浸らせながら、鬼につかまらないような動きも考えて楽しませる。</p> <p>□チーム分けをする。（柔軟に）</p> <p>□よりよい動きを学級でまとめながら学習を進める。</p>
4	<p>①ねらい2の学習を確かめる。（第3次）</p> <p>チームが勝つために、作戦を立てて鬼あそびをしよう。</p>	<p>ねらい2</p> <p>相手に勝つための作戦を考えながら、鬼遊びを楽しむ。 （高められた力で楽しむ。主に集団での楽しみを充足させる。）</p>
5	<p>②たからとり鬼をして遊ぶ。</p> <p>③じんとり鬼をして遊ぶ。</p>	<p>□チームの動きや作戦を考えたり話し合ったりしやすいように、手がかりとなる資料を示す。（全体に・グループに）</p> <p>□事前に把握している児童に留意して学習を進める。（特に、学習意欲の落ちている児童）</p>
6	<p>④学習のまとめと反省をする。</p>	<p>□課題をうまく解決できない児童やチームには直接的な指導を行う。</p> <p>□学習で楽しかったことやうまくなったこと、今後の課題等を話し合わせ、次時の体育学習に生かす。</p>